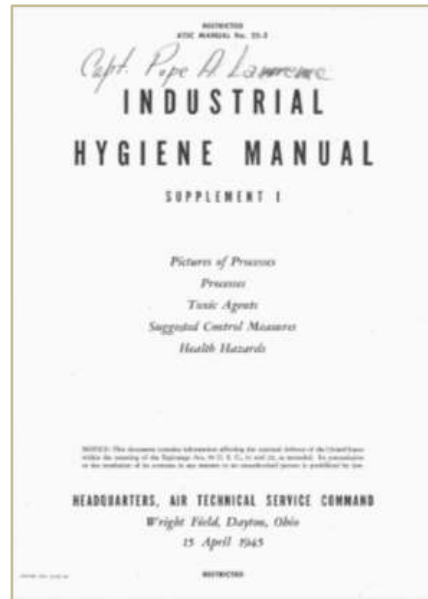


米国における環境衛生政策の展開
米国国立医学図書館所蔵 ポープ・A・ローレンス文書 1924-1983
Development of Environmental Health Policy
Pope A. Lawrence Papers 1924-1983

ポープ・A・ローレンスは、環境衛生、産業衛生工学の専門家で、公衆衛生局や産業衛生局等の政府省庁との関わりも深く、その活動は純粋な科学研究の枠を超え、政府省庁の委託研究や政策立案など、実践的な領域にも及びました。その活動範囲は、ウラン鉱山労働者の健康を調査した国立癌研究所の委託研究、化学兵器や有害化学物質の排出の領域でのコンサルティング活動、軍医局での活動、環境汚染局の大気汚染規制プログラムでのコンサルティング活動、呼吸器がんに関する15の州での研究プロジェクトの統括、労働者の健康と安全を増進させるための政策立案など、広範囲に及びました。

本コレクションは、書簡、研究成果、報告書、科学データ、写真、地図、刊行物など、ポープ・ローレンスの研究や政策立案活動の全貌を明らかにする文書群です。20世紀半ばから後半に至るアメリカの環境衛生、産業衛生の政策過程の背景を明らかにするだけでなく、ウラン鉱山労働者の研究が明らかにする通り、1950年代から70年代にかけてのアメリカ原子力政策の一端をも浮かび上がらせる貴重な一次資料です。さらに、1963年の大気浄化法を効果的な法律にするための連邦政府省庁の役人や科学者の努力、環境汚染や職場の不衛生を除去するための彼らの様々な試みにも光を当てます。収録されている地図は、呼吸器がんの研究において、大気汚染の状況や汚染を取り除くためのガイドラインや環境基準を設定する過程で作成されたものです。





◆データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: History of Medicine Division, National Library of Medicine
- ◆ 期間: 1924年-1983年
- ◆ 総ページ数: 33,447ページ